

教育
相談室

自立への手助けを

中学一年生の長男が、五月の連休後休みはじめ、それ以来登校しなくなりました。担任の先生が家庭訪問してくださっても、部屋にとじこもって会おうとしません。外出したがらず、学校のことにも話題がふれると気嫌が悪くなり、どなることもあります。ある母親から「チャイルドセンター」のことを聞き、どんな活動をしているのか知りたいと思っています。

●安心できる居場所を

小学校から中学校になり友達関係や学習形態、生活のリズムなど、お子さんにとりまわりの生活環境が大きく変わり、その変化にうまく対応できず悩んでおられるのだと思います。学校に行かなくてはと思いつながら、不安やわずらわしさからどうしても気持ちが学校に向かないのでしょうか。学校は今、自分の居場所がないのかも知れません。家庭を安心していられる場所にしてあげましょう。登校を強

●子どもを信じて

部屋にとじこもっていることですが、学校に行けないことできつと苦しんでいることでしょうか。学習の遅れや友達のこと、将来のことなど不安で胸がいっぱいになっていると思われまふ。今は学校のことには触れず、そっとしておいてあげましょう。明るい気持ちで接してあげてください。

家族の温かい励ましや愛情があれば、きっと自分の力で動き出すことでしょう。素直に自分らしく行動できるようになるまで、待つてあげてください。

●チャイルドセンターでは

学校に行きたくても行けない子どもたちの要因は多様ですが、過保護に育ち自立心がおくられている子や、

よい子で育ち挫折感を知らない子に多く見られます。チャイルドセンターではこのような子どもとの相談を受けたら、また、製作活動・体験学習を通してより良い人間関係や自立心を養い学校に行ける心の準備をお手伝いしています。

人と人とがふれあうことで、少しずつ自信が取り戻せるようになります。

(鯖江市チャイルドセンター)

●青少年健全育成

鯖江市民大会

日時

平成十年二月八日(日)
午後一時三十分

会場

鯖江市文化センター

内容

記念講演、写真・作文の表彰ほか
市民の方々の参加をお待ちしています。

地域で守ろう子どもたちを

話題にして下さい。

近年児童に対するいろいろな犯罪等が後を絶たない折りから、当会議では鯖江警察署と協力して地域の子どもを守るために、市内小学校下三十六ヶ所、商店、一般住宅の玄関先に下図のような「かけこみコール110番の家」の看板を設置しました。子どもたちと一緒にご家庭で

かけこみコール
110番の家
鯖江けいさつ・鯖江市民会議
(鯖江市民会議)

発行
鯖江市教育委員会
鯖江市社会教育委員会
青少年健全育成鯖江市民会議

協力
丹南青少年愛護センター鯖丹支所

はぐみ

家庭教育を考えるシリーズ



13号

「創造性をはぐくむために」

(北中山小学校児童)



氷が溶けたら？ —型にはめたら創造性は消えていく—

人間として大切なこと

理科の時間「氷が溶けたら何になるか答えなさい」という問題が出ました。子どもたちはいっせいに書きました「水」。ところが一人の生徒は「春が来る」と書きこんだのです。もちろん理科の答えとしてはベケでも先生は言いました。

「氷が溶けたら水になるね。それは正しい答えです。しかし〇〇君の答えは『春が来る』この答えもいいねえ。寒い寒い冬がやつと終りに近づき、山あいの小川の氷がポチョンポチョンと溶けはじめ、水がサラサラと流れはじめ。残った雪の下からふきのとうが顔を出してくる。やがて春が来るぞ。そんな光景が目には浮かぶなあ。理科としてはベケだったけど、君の詩情は大切なものだ。よかったな。」

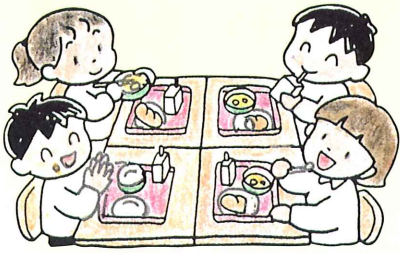
〇君は、うれしそうに目を輝かせました。

親の価値観は子が引き継ぐ

あるお母さんが子どもに言いました。「給食のとき、『ごちそうさま』と言う必要はないよ。給食の代金はちゃんと家から出しているのだからね、わかった」信じられないような話ですが、どうも事実らしいといえます。

この論法でいくと、ものを買っても金を払うのだから礼まで言う必要はありません。お年寄りや老人ホームで面倒みるのが当然、金を払うのだから。すべて、金銭で人間関係を割り切ってしまうことになります。

人はみな、どこかで、他人様のお世話になってはじ



世界には餓死する人が一日一人以上いるというのに、私は恵まれている。たったひとことの言葉にこめられた意味は広くて深いのです。この言葉は、その人の人生観・価値観に及ぶものだと思います。

子どもは、必ず親の持つ

輝かせました。

さてお母さん、あなたも先生のような解答をわが子に与えますか。この子は理科の問題だったことを忘れて、日ごろ遊びに行ったりキノコとりをした山のことを思い出して思わず「春が来る」を書いてしまったに違いありません。心にゆとりのない先生だったら「お前なにを考えているんだ」と叱ったかも知れません。

お母さんもゆとりがなかったら同じでしょう。

今、子ども達は、遊び場もなく、時間も友達も少なくなつて、いつも追いかけるような暮らしをしています。そのためか、すっかり夢見ること忘れかけようとしているのです。

わずかですが、学校で、障害のある子を一生懸命世話している子がいるそうです。そんな子はきつと「春が来る」と答えた子と同じ

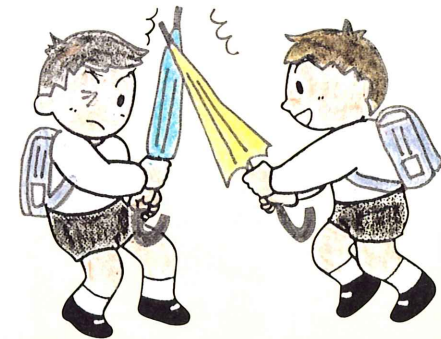
過敏症候群

豊かな心の持ち主でしょう。なんでも型にはめこんできめつけてしまうのではなく、いろいろな角度から眺めて人間として大切なこと見つけ出し、それを高く評価してあげること、これが今の子に最も必要なことではないでしょうか。

朝方の雨も授業が終わる頃にはすっかり上がり、子どもたちは元気に家路へ急ぎます。

ところが、その中で何人かが、こうもりをチャンバラの剣に見たてたのか、切ったり切られたり、時代劇の剣士になったような気になつて走り廻つたのがいました。丁度そのとき、子どもを迎えに出たお母さんがそれを見てしまったのです。

あわてて家に入り学校に電話しました。「先生、うちの子がいじめられています。こんなことはいいでしょ



さて、不幸の種とは何を指したのでしょうか。つい五十年前前、食べものもなく、着るものもなく、餓死する人さえ出ました。そんな時、人々は何とか助け合

代が開けてくるような気がします。でも、なんとなく心の底の方で満たされな部分が残る、果たしてこれでいいのだろうか、ふとそう感ずるときがあります。

欲望が満たされたときは快感が生まれ、感性が満足されたときに人は幸福感をおぼえると言います。

もしかすると私達は快感と幸福感をとり違えているのではないのでしょうか。人間の素朴な感性を見落としてしまう、これが不幸の種というのではないか、曾野さんはきつとそれを言

涓滴

便利になった、快適だ、すごいもんだ、と喜んでいる私達の生活、それを幸福だと思ひ込んで暮らしています。

しかし、よく考えてみると、文明はそれと同じ量の不幸の種を確実に運んできていることにどれだけの人気が気づいているのだろうか、と曾野さんは警告したのです。

木を見て森を見ず

さで、不幸の種とは何を指したのでしょうか。つい五十年前前、食べものもなく、着るものもなく、餓死する人さえ出ました。そんな時、人々は何とか助け合

代が開けてくるような気がします。でも、なんとなく心の底の方で満たされな部分が残る、果たしてこれでいいのだろうか、ふとそう感ずるときがあります。

欲望が満たされたときは快感が生まれ、感性が満足されたときに人は幸福感をおぼえると言います。

もしかすると私達は快感と幸福感をとり違えているのではないのでしょうか。人間の素朴な感性を見落としてしまう、これが不幸の種というのではないか、曾野さんはきつとそれを言